
2. 製品コンセプト

◎近くを見続けると眼に負担が掛かるメカニズム。

人間の眼は、水晶体と呼ばれるレンズの調節でピントを合わせています。

この水晶体は毛様体という筋肉の働きによってレンズの厚さを調整します。

遠くを見るときは、毛様体筋が弛緩し、近くを見るときは緊張します。

近くを見るときに長時間でも快適に見える距離は姿勢や年齢など個人によって異なりますが、この距離を超えて

近くを長時間見るときは、毛様体筋の強い緊張を伴い、これが眼への疲れの原因になると考えられます。

特に眼への負担を感じている30代からの世代に向けた新しいコンセプトのメガネレンズです。

3. ターゲット

◎日本人の約9割が近視と言われています。

近視は遠くがぼやける現象ですので、近視用のメガネレンズは遠くのものがよく見えるような度数で作られることが多く、そのため、遠くを見るための度数で近くのものを見続けると、毛様体筋が長時間緊張した状態になるため、眼に負担がかかります。

ニコン リラクシーは、遠くの視界を確保しながら、パソコン作業等でも眼に負担をかけにくいメガネレンズです。

遠くはよく見えるようになったけど長時間のパソコン作業等で眼への負担を感じている近視のメガネユーザーをターゲットとしています。

そのため、上記のような症状を感じた経験がないユーザーには、効果が実感できないことがあります。